

令和4年度

幼稚園教員資格認定試験

幼稚園教育の実践に関する科目

注意事項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 受験番号及び氏名を解答用紙の指定された欄に記入してください。なお、受験番号及び氏名は2枚とも必ず記入してください。
3. 解答は、すべて所定の欄に記入してください。指定された欄以外に記入されたものについては、採点対象となりません。
4. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから90分です。
5. 試験が終わるまで退室できません。
6. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。
7. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
8. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

問 1 『幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開』(令和 3 年 2 月文部科学省)「第 1 章 指導計画作成に当たっての基本的な考え方 5. 小学校の教育課程との接続と指導計画 (1)幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の意義」では、「①教育の目的・目標」「②教育課程」「③教育活動」の三つの視点が示されている。幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図るうえで、この三つの視点それぞれにおいて、基本的に押さえておきたいことを、具体的に説明しなさい。なお、記述に当たって以下の語句を参考にしてよいが、使用は必須ではない。

【語句(使用する順番及び回数は問わない)】

「連続性」 「一貫性」 「生活や体験を通した学び」

「時間割に沿った教科等の学び」 「学びの芽生え」 「自覚的な学び」

問 2 以下は、ある幼稚園の3歳児クラス(男児12名、女児8名)における11月の指導計画(週案・日案)の一部を示したものである。週案を基に、日案の【問①】【問②】【問③】について答えなさい。

<週案>

<p>前週 の 幼 児 の 姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積み木やコルク積み木を使って場を作ったり、固定遊具をおうちに見立てたりして、ままごと、病院ごっこ、電車ごっこをして遊んでいる。「注射しますよ、チク」「痛かったけど泣かなかったよ」などと、それぞれが自分なりの“つもり”の世界を楽しむようになってきた。</li> <li>・自分なりの思いをもって動くこと、友達と一緒に動くことが楽しく感じられるようになってきている。そのため、自分の“こうしたい”という思いや“こうしてほしい”“〇〇はしたらだめ”などの思いを、友達にも様々な表し方で出すようになってきて、もめることが増えてきた。</li> <li>・タンブリンやカスタネット、ドングリマラカスなど、音楽に合わせて鳴らしたり、友達と一緒に音を出したりして楽しんでいる。落ち葉を集めて“カサカザ”という音や、ドングリが転がる音なども面白がり、自分なりの関わり方で遊んでいる。</li> </ul>
<p>ね ら い</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを出し、したい遊びを楽しむ。</li> <li>・教師や友達と触れ合って遊ぶ心地よさを感じる。</li> </ul>
<p>内 容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積み木、固定遊具などで場をつくりながら、ままごと、病院ごっこ、電車ごっこなど、好きなものになって動いたり、話したりして遊ぶ。</li> <li>・自分なりの思いや“つもり”を教師や友達に表そうとする。</li> <li>・教師や友達と一緒にいる中で、自分の思ったことを言葉や行動で表しながら遊ぶ。</li> <li>・いざこざの際に教師の表情からその場の雰囲気を感じ、自分なりに考えようとする。</li> <li>・落ち葉や木の実などの自然物や身の回りの素材に触れ、感触や音などを楽しみながら思うままに遊ぶ。</li> </ul>

<日案>

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな友達と一緒に気に入った場を見つけ、自分の思いやイメージを言葉で表しながらごっこ遊びを楽しむ。</li> <li>・教師や友達と一緒にいろいろな動きを楽しみながら、元気いっぱい体を動かす気持ちよさを味わう。</li> </ul>		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“こうしてほしい”“こうしたらだめ”などの思いを言葉や態度で表す。</li> <li>・一緒の場にいる友達に尋ねたり、友達のしていることに納得したりしながら分かり合っ</li> </ul> <p>て遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うんていや登り棒、アスレチックなどの固定遊具でいろいろな動き方にチャレンジし、やりたいことができた嬉しさを感じる。</li> </ul>		
時間	生活の流れ	環境構成	教師の援助
9:00	①登園をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> <li>・身の回りの持ち物を片付ける。</li> <li>・着替え，うがい，手洗い</li> <li>・出席シールを貼る。</li> </ul>	(略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・笑顔で挨拶を交わし，幼児の健康状態を確認する。</li> </ul>
9:20	②好きな遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごっこ遊びをする。 (ままごと，病院ごっこ，電車ごっこ等)</li> <li>・制作遊びをする。</li> <li>・積み木で遊ぶ。</li> <li>・園庭で遊ぶ。 (固定遊具等)</li> </ul>	<b>【問①】</b> ごっこ遊びが充実するための環境構成を二つ挙げ，それぞれについてその目的や理由を含めて記述しなさい。	<b>【問②】</b> 遊びの中で生じたいざごごに対する教師の援助を二つ挙げ記述しなさい。
10:45	③片付け	(略)	(略)
11:00	④みんなで集まる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌を歌う。</li> <li>・絵本を見る。</li> <li>・今日の出来事を話す。</li> </ul>		<b>【問③】</b> みんなで集まる際の教師の援助を三つ挙げ記述しなさい。
11:30	⑤昼食準備		